

## 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

国語 科目：言語文化 単位数：2 単位  
 1学年 1組～ 7組  
 (1組：伊東) (2組：伊東) (3組：伊東) (4組：金子) (5組：伊東) (6組：金子) (7組：金子)  
 (『言語文化』(大修館書店))

国語 の目標：  
**【知識及び技能】** 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
**【思考力、判断力、表現力等】** 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。  
**【学びに向かう力、人間性等】** 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文章を正確に読み取るために、語句や表現方法に関する知識を学ぶ。	①古典文学に関する知識をもとに作品の内容を的確に理解する。 ②小説においては、表現方法に注意しながら、登場人物の心情を理解する。評論・随筆分野では構成や表現に注意しながら筆者の考えを理解する。	異なる時代に書かれた文章を読み比べることで、わが国の言語文化に関する理解を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
言葉の紡ぐ世界 <b>【知識及び技能】</b> 常用漢字の読みに慣れる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 場面ごとに状況によって変化していく下人の心情を的確にとらえ、作品のテーマについて考える。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 話し合い活動を通じ、作品への理解・関心を高める。	教材『羅生門』 ・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。	○			<b>【知識・技能】</b> ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	8
定期考査					○	○			1
人との交わり <b>【知識及び技能】</b> ・和歌の表現技法とその効果を理解し、文章表現を深く味わう。 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> 歌物語について理解し、話の展開や登場人物の心情を叙述にもとづいて的確にとらえる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・歌物語に興味を持ち、その文化的背景について調べたり、文章や和歌の技法を自分の表現力に活かす。	教材『伊勢物語』 「芥川」 ・物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 ・歌に込められた登場人物の思いをとらえる。 ・和歌の修辞技法と、その効果を理解する。 ・古典世界の恋愛・結婚のあり方をとらえる。	○			<b>【知識・技能】</b> ・語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。	○	○	○	3
文学と人生 ・作品の時代背景と、登場人物との関係を理解する。 ・会話文や手紙から、登場人物の状況や心情を理解する。	教材『セメント樽の中の手紙』 ・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。	○	○		文学と人生 <b>【知識・技能】</b> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・作品に興味をもち、時代背景と登場人物との関係を理解したり、会話文や手紙から登場人物の状況や心情を理解する学習に、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	5
定期考査					○	○			1

	<p>日常へのまなざし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の情景に対する作者の感覚をとらえる。</li> <li>・作者の人物像をとらえる。</li> </ul> <p>想いを表す言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢詩の形式や詩の表現の特徴を理解する。</li> <li>・それぞれの詩がうたわれた時代背景を知り、理解を深める。</li> </ul>	<p>教材『枕草子』『雪のいと高う振るたるを』、漢詩「香炉峰下」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・範読、斉読、白文読みなどを通して繰り返し音読する。</li> </ul>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。【(2)イ】</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。【(2)ウ】</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。【B(1)ア】</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。【B(1)イ】</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・唐詩に興味を持ち、作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。</li> </ul>	○	○	○	○	3
	<p>表現の多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の表現に着目しながら読む。</li> </ul>	<p>教材『夢十夜』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分」と「女」との関係や約束の内容をとらえる。</li> </ul>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ウ】</li> <li>・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。【(2)カ】</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。【B(1)ウ】</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。</li> </ul>		○	○	○	4
	<p>定期考査</p>							○	○		1
2 学 期	<p>人生の指針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文訓読のきまりを理解し、その口調やリズムに親しむ。</li> <li>・孔子や孟子の名言に親しみ、その思想と現代との関わりについて考えを深める。</li> <li>・『論語』について書かれた文章を読み、『論語』についての理解を深める。</li> <li>・『論語』の名言を味わい、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。</li> </ul>	<p>教材『論語』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・孔子の教育方針を理解する。</li> <li>・孔子が学問の方法をどのように考えていたかを把握する。</li> <li>・『論語』が我々の日常に則した書であることを理解する。</li> </ul>				<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。【(2)ア】</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。【(2)イ】</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【(2)ウ】</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。【B(1)ア】</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。【B(1)イ】</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。【B(1)エ】</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【B(1)オ】</li> </ul>	○		○	○	3
	<p>文学と人生</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味や表現は作品の文脈の中で形成されることを十分に理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に表れている登場人物の感じ方をとらえ、読み取りの根拠を明らかにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の主題を読み取り、他の作品にふれることによって死生観について自分の考えを深める。</li> </ul>	<p>教材『城の崎にて』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解する。</li> </ul>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に興味を持ち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。</li> </ul>	○	○			7
	<p>定期考査</p>							○	○		1

3 学 期	語り継がれる歴史 ・登場人物の会話や行動を整理し、どのように描かれているかを読み取る。 ・『平家物語』に特徴的な文体のリズムを味わう。 ・文体や表現によって、読者が受ける印象の違いをとらえる。 ・歴史的な記録と、語り伝えられる物語との違いを理解する。	教材『平家物語』「木曾の最期」 ・登場人物の行動と心情を整理する。 ・表現効果を考えながら朗読の工夫をする。	○	○	<b>【知識・技能】</b> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。【(2)ア】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。【(2)イ】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【(2)ウ】 <b>【思考・判断・表現】</b> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。【B(1)イ】 <b>【主体的態度】</b> ・作品に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。 ・物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	4
	自然へのまなざし <b>【知識及び技能】</b> ・文中の語句の意味を理解し、適切に用いる <b>【思考力、判断力、表現力】</b> 筆者が何を伝えたいのかについて自分の考えをもつ <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 作者の感動する点から、作者の自然観を読み取る。	教材『青が消える』 ・作者独特の比喩表現に着目しながら読む ・作者の意図は何かを考えて読む	○	<b>【知識・技能】</b> ・語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・作品に興味を持ち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。	5	
	定期考査			○	○	1
					合計	46